

中々承も貪欲をく惑人としてやも此天童を
押領せんと思ひ何れと云ふて官の成院柴
野末峰院寶幢寺等に非道の祈禱を依付らる
是天童藩城の祈禱を中々因茲寶幢寺
末峰院忽中請中され此を天正十三年三月非道
の祈禱を執行ひたる時成院院に虚病をかまひ中請
不申如何ある子細と云に天童里見家代々の主君とて
ましまし故この祈禱を義光少くも其情を信ずる
りて家上庄内の境役人派に於て同く三月廿八日なご
けあとも殺害し玉ふ此中から此天童頼久公も少

しめしねも義光と贈書に道に振舞前代末少の
るあとも思召と云ふより山縣天童藩に快と成り
玉ひり此は依て年月を移さる同年九月九日義
光公天童へ押寄せ玉ふ同く十月九日再び義光公
大勢を引率し天童へ殺向り東江大寺に大將
ふ氏家屋敷守坂上紀伊守志村九郎守青が
法西口の大將より長尾源右衛門長谷川出雲守志村
九郎守光より関を向ふ天童にも事期しと云
はれ先より花増安房守草薙志摩守奥村大
膳鈴木半助直江五郎守矢口七郎大勢とて押出